

令和6年度第2回 境港市学校給食センター運営委員会

日時：令和6年10月23日（水） 15：00～

場所：境港市学校給食センター研修室

内容

（諮問事項）

今後の学校給食費について

参考資料1

学校給食費の現状について（前回資料）

参考資料2

令和6年度産精米並びに米飯供給価格の期中改定について

参考資料3

令和6年度賄材料費見込み外

令和6年（2024年）10月23日

境港市学校給食センター運営委員会 様

境港市教育委員会
教育長 山本 淳一

諮 問 書

1 諮問事項

今後の学校給食費について

2 諮問理由

本市の学校給食事業は、平成27年より、それまでの自校調理から給食センター化となり、小学校同様に中学校でも学校給食がスタートしました。学校給食では、これまで地元の魚を中心とした魚食の推進を図るとともに、安全・安心で栄養バランスのとれた食事を提供することにより、正しい食習慣の形成等「食育」の分野も担い、教育活動の一環として実施しております。

昨年、全国約150の学校や寮、官公庁などの給食・食堂運営を手掛ける広島県の事業所が、食材の値上がりや人件費の増加が原因で経営が悪化し破産することとなり、給食・食事の提供を受けられない施設が続出したというニュースがありました。この事業所は、委託業務で調理以外に食材調達も行っており、近年の物価・人件費の上昇で学校、行政などの委託元に値上げを要求したが認められず、赤字での事業継続を余儀なくされ、最終的に運営ができなくなったということでした。このニュースからも近年の食材費や人件費高騰の状況が窺えます。

本市の学校給食費は、平成27年度から小・中学校ともに値上げをせず据え置いてきました。この間にも、物価高騰により学校給食で使用する食材価格が上昇しており、特に牛乳は、毎年価格が上昇しているため、副食費分の食材費を圧迫する原因となっています。これまでは、食材選定や献立を工夫することで対応してまいりましたが、今年度、これまで値上げのなかった米の価格も上昇するなど、今後さらなる物価高騰が予測されるため、これまでの対応では、栄養バランスや献立水準を維持することが困難となっています。そのため、令和6年度からは、子どもの給食費は据え置きしましたが、教職員や給食センター職員等については、先行して給食費の値上げを実施しております。

このような状況を踏まえ、境港市の将来を担う小・中学生に対し、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を継続して提供できるよう、今後の適正な学校給食費について諮問いたします。

学校給食費の現状について

境港市の学校給食費は、平成 27 年に改定して以降、約 9 年間値上げをせず据え置いてきました。この間、物価や原油価格の高騰に伴う輸送経費の値上がりなどにより、学校給食で使用している食材の価格が大幅に上昇しています。不足する食材費については、これまで食材や献立を工夫したり、昨年度においては、物価高騰に対応する国からの臨時交付金を活用するなどの対応をしてきました。しかし、予想を超える物価高騰が続いていることから、これまでの対応では、栄養バランスや献立水準を維持することが困難となっています。

子どもたちが楽しみにしている給食を安心・安全に安定的に提供するため、給食費の改定を検討しています。

Ⅰ 給食費推移

(Ⅰ) 主食費

奥日野海藻米を使用。肥料代・燃料代等高騰のため令和 6 年度から初の値上げ。

小学校

品目	H 2 7 ①	R 6 ②	差額②－①	増減割合
米 (70 g)	23.10 円	24.50 円	1.4 円	106.06%

中学校

品目	H 2 7 ①	R 6 ②	差額②－①	増減割合
米 (95 g)	31.35 円	33.25 円	1.90 円	106.06%

(Ⅱ) 副食費 (肉・野菜・調味料等)

	R 6 (見込み)	R 5	R 4
実績 (見込み)	111,795,272 円	108,014,756 円	101,443,281 円
対前年度割合	103.5%(2 年平均)	106.48%	100.51%

(Ⅲ) 牛乳代

県内学校給食はすべて大山乳業を使用。

飼料価格・燃料代高騰により酪農を取り巻く環境は厳しい状況が続き、毎年のように値上げ。

区分	H 2 7 ①	R 6 ②	差額②－①	増減割合
牛乳代	47.41 円	67.67 円	20.26 円	142.73%

2 給食費改正案

小学校の給食費 (1 食当たり)

年度	主食 (米 70 g)	副食費	牛乳代	計
H 2 7	23.10	196.49	47.41	267.00
R 6	24.50	203.37	67.67	295.54
差引	1.40	6.88	20.26	28.54

小学校・・・296円・・・①

中学校の給食費（１食当たり）

年度	主食（米 95g）	副食費	牛乳代	計
H27	31.35	231.24	47.41	310.00
R6	33.25	239.33	67.67	340.25
差引	1.90	8.09	20.26	30.25

中学校・・・341円・・・②

※小学校・中学校ともに主食と牛乳代は実際の金額、副食費はR3年度からR4年度の上昇率とR4年度からR5年度の上昇率の平均（103.5%）を現在単価に乗じた金額

① 及び②の金額をベースに改定額を検討

R6 賄材料費見込みが 156,401,475 円（別紙参照）となったことから、①と②を給食費の算定表にあてはめてみる。

○給食費小学校 296 円、中学校 341 円の場合の試算

	単価	人数	日数	計
小学校児童	296	1598	185	87,506,480
中学校生徒	341	804	177	48,527,028
小学校教職員	296	190	185	10,404,400
中学校教職員	341	96	177	5,794,272
その他	296	5	197	291,560
保護者（小1）	296	246	0.65	47,330
教育実習生他	341	100	1	34,100
調理	296	28	197	1,632,736
配送	296	4	197	233,248
計				154,471,154

※①②の単価にすると賄材料費見込みに約 193 万円不足することになる。賄材料費見込額にあわせて単価を調整していくと小学校 300 円（+4 円）、中学校 345 円（+4 円）で同程度の額（156,461,670 円）となる。よって小学校は、300 円、中学校は 345 円を改正単価案とする。

○給食費小学校 300 円、中学校 345 円の場合の試算

	単価	人数	日数	計
小学校児童	300	1598	185	88,689,000
中学校生徒	345	804	177	49,096,260
小学校教職員	300	190	185	10,545,000
中学校教職員	345	96	177	5,862,240
その他	300	5	197	295,500
保護者（小1）	300	246	0.65	47,970
教育実習生他	345	100	1	34,500
調理	300	28	197	1,654,800
配送	300	4	197	236,400
計				156,461,670

R 6 賄材料費見込み・・・156,401,475 円

小学校の給食費（1食当たり）

年度	主食（米 70 g）	副食費	牛乳代	計
H 2 7	2 3 . 1 0	1 9 6 . 4 9	4 7 . 4 1	2 6 7 . 0 0
R 6	2 4 . 5 0	2 0 7 . 8 3	6 7 . 6 7	3 0 0 . 0 0
差引	1 . 4 0	1 1 . 3 4	2 0 . 2 6	3 3 . 0 0

小学校・・・300円

中学校の給食費（1食当たり）

年度	主食（米 95 g）	副食費	牛乳代	計
H 2 7	3 1 . 3 5	2 3 1 . 2 4	4 7 . 4 1	3 1 0 . 0 0
R 6	3 3 . 2 5	2 4 4 . 0 8	6 7 . 6 7	3 4 5 . 0 0
差引	1 . 9 0	1 2 . 8 4	2 0 . 2 6	3 5 . 0 0

中学校・・・345円

2 賄材料費全体の歳入配分

	賄材料費（支出） ①	収入額		一般財源 ①－②－③
		実収入額 ②	減免額 ③	
R 2	143,851,124	118,720,465	22,141,893	2,988,766
R 3	139,883,607	115,472,812	21,328,497	3,082,298
R 4	140,431,981	112,117,553	21,512,337	6,802,091
R 5	149,812,456	111,943,097	22,927,061	14,942,298

※R 5 の一般財源分はコロナ交付金を活用

本来であれば②＋③が①と同程度の額になる必要があるが、物価高騰等により、年々市の持ち出しが増えている状況である。

3 鳥取県内小中学校の1食当たりの保護者負担額

市町村	小学校	中学校	補助・支援など
鳥取市	276 円（平均）	317 円（平均）	
米子市	280 円	330 円	不足分支援
倉吉市	283 円（323 円）	322 円（362 円）	不足分支援
境港市	267 円	310 円	不足分支援
岩美町	280 円（305 円）	320 円（355 円）	小 25 円、中 35 円補助
若桜町	0 円（331 円）	0 円（381 円）	無償化（R6 一般財源）
智頭町	0 円（300 円）	0 円（340 円）	無償化（R6 一般財源）
八頭町	200 円（320 円）	250 円（375 円）	小 120 円、中 125 円補助
三朝町	289 円（298 円）	340 円（351 円）	小 9 円、中 11 円補助
湯梨浜町	300 円（318 円）	350 円（370 円）	小 18 円、中 20 円補助
琴浦町	285 円（324 円）	326 円（368 円）	小 39 円、中 42 円補助
北栄町	278 円（323 円）	330 円（375 円）	小 45 円、中 45 円補助

日吉津村	266 円 (303 円)	330 円 (組合)	不足分支援
大山町	0 円 (298 円)	0 円 (348 円)	無償化 (R6 ふるさと納税)
南部町	253 円 (313 円)	302 円 (370 円)	小 60 円、中 68 円補助
伯耆町	100 円 (322 円)	150 円 (372 円)	小中 222 円補助
日南町	250 円 (359 円)	300 円 (409 円)	不足分支援
日野町	103 円 (309 円)	121 円 (363 円)	3 分の 2 補助
江府町	0 円 (281 円)	0 円 (326 円)	無償化 (R6 ふるさと納税＋一般財源)

※カッコ内は補助・支援前の金額

【県内他市の状況】

- ・鳥取市は、ロット数が 16,000 食あり、入札金額が安くなり、値上げせずに対応できている。
- ・米子市は、R6 年度に小学校、中学校ともに現在の単価より 30 円不足しているの見込んでいるが、単市で対応し値上げはしない方向。(小学校 310 円、中学校 360 円)
- ・倉吉市は、R6 年度に小学校 40 円、中学校 45 円不足しているの見込んでいるが、単市で対応し値上げはしない方向。(小学校 323 円、中学校 367 円)

【無償化している自治体】

- ・若桜町は、R4,5 年度はコロナ交付金を活用して無償化。R6 は一般財源。
- ・智頭町は、R2 に町長が変わったタイミングで無償化。財源は当時から一般財源。
- ・大山町は、R2 無償化を始めた当初はコロナ交付金活用。現在はふるさと納税。
- ・江府町は、R4,5 年度はコロナ交付金＋一般財源、R6 ふるさと納税＋一般財源。

【低所得家庭への支援策】

- ・就学援助家庭への支援
 - 鳥取市 7 割相当額補助
 - 米子市 7 割相当額補助
 - 倉吉市 3 分の 2 相当額免除
 - 境港市 全額免除
- ・第 3 子以降への支援
 - 鳥取市 なし
 - 米子市 なし
 - 倉吉市 3 割相当額免除
 - 境港市 全額免除

県内他市と比べ、手厚く支援しているため、同様の支援を継続する。

4 運営委員会委員アンケート結果

1. 値上げについて

- ・値上げ幅による。「子育てするなら境港」を標榜している以上、子育て世帯の負担増は避けるべきと考える。
- ・過去の運営委員会資料では残菜量も多い印象。現在の1食当たりの保護者負担率・公費負担率からどの程度廃棄が生じているのかなどはもっと広報すべき。
- ・値上げも仕方ない。他市町村の状況を見ると境港市の給食費が低い設定なので値上げしても良いのではと思います。子どもたちが毎日食べるものなので、栄養バランスなどは変わらないようにするためにも仕方ないことだと思います。
- ・やむを得ない状況と考えます。
- ・仕方がないことだと思います。物価高騰により作り手である農家も肥料、苗等すべて負担がかかっていると思うから。
- ・物価高騰もあり、やむを得ないと思います。
- ・物価高騰の状況を考慮すると、給食費の値上げは避けられないと思います。ただし、低所得者の家庭への影響を考慮して支援策を用意しておく必要があります。全国的な市町村と情報共有して金額を決めるべきだと思います。
- ・8年間値上げをしてないことは、栄養教諭、納入業者、全ての皆様の努力やご協力のもとに行われてきたことであると思います。しかし、近年の物価高騰では値上げはやむを得ないと思います。値上げ額は、赤字にならない61円。しかし、徴収額が大きくアップすることになるので全額保護者負担というのは理解が得にくいと思います。国からの臨時交付金が出なければ、市公費で負担していただきたいです。（ただし、段階的に保護者負担が発生するということを前提に）
- ・何かにつけて値上がりしている昨今、当然とも言える時期だと思う。一度にあげるのではなく3～5年計画で毎年10円とか20円ずつ上げてはどうか。
- ・質や量を下げ、現給食費を維持する方向より、今と同じ給食内容を維持するほうが良いと感じるので、値上げについては賛成です。
- ・安心安全で栄養バランスの取れた給食を提供するために必要であれば値上げはやむなしと考えます。ただし、保護者へ十分な説明を行い、理解を得るよう努力してほしいと思います。

2. 必要な資料

- ・賄材料費の保護者負担率と公費負担率の推移（過去3年分）物価高騰の中、現在の給食費を今後も維持した場合、公費負担がこれだけ膨らむというイメージをつかみたい。実質1人当たりの負担額はどの程度か。
- ・賄材料費の内、米飯、副食、牛乳別の値上がり状況の比較
- ・県内で無償化を行っている自治体の財源（一般財源、交付金、特定の寄付金、ふるさと納税等）
- ・これまで値上げをせずに給食提供ができていた市や取引業者の努力が分かる資料。このたびそれが限界であることが分かる資料
- ・県内自治体の状況
- ・他の市町の給食費等の動向

- ・原材料費等の価格変化等
- ・食品価格の推移・・・過去数年間の推移を示すグラフ
- ・保護者へのアンケートや意見調査の結果
- ・全国的に何%の値上げがあるか一覧
- ・低所得者への支援策
- ・他府県の価格状況は参考にならないでしょうか。
- ・主食、野菜、肉、魚別の料金の占める割合
- ・ホームページに写真で載っている給食が！食いくらなのか。

3. 自由意見

- ・現在も創意工夫をして現状の給食費を維持していることはたいへん素晴らしいことだと思います。給食費については、県内4市の中でも安く抑え、かつ3人目以降は減免などの支援も行っていますが、今後値上げとなった場合に例えばきょうだい2人目からでも何割か減免するなどの軽減措置も検討いただきたいと思います。（そういう意味では子ども1人、2人、3人以上の割合なども分かるとよいかもしれません。）
- ・米飯給食ばかりではなく、パンもあっても良いのでは。おかずとの組み合わせでパンのほうがあってると言うことはありませんか。
- ・物価高騰によりの値上げとは別の議題かもしれませんが、残飯が多いことも事実です。子どもたちの意見にもっと耳を傾けてほしいです。アンケートなどでは聞き取れないこともあると思いますので、子どもたちと向き合って給食について話を聞いてほしいです。
- ・親としては給食の時間が楽しい時間であること、とにかくおいしい給食であることを願っています。